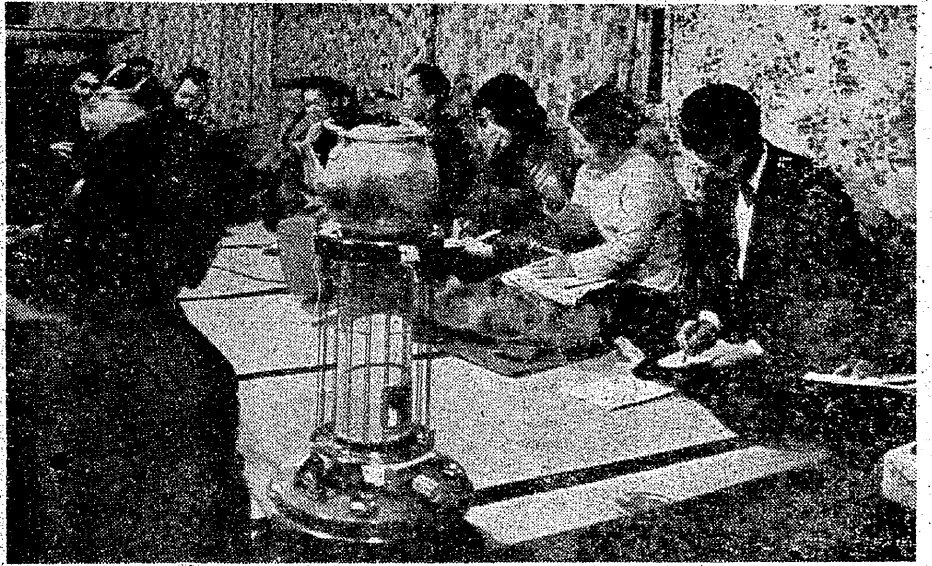




社宅で、地域分会の組合員たちと真剣に交流する
学ぶ集会参加者たち

恥じない三池主婦会に

してゆかなければ……

大谷

三池にまなぶ全園集会

今年も三池にまなぶ全園集会の若い人たちが、北は北海道から南は鹿児島まで、三百四十七名集まってきました。ある奥さん、どうしようかと思いましたが、泊めて本当によかった、いろいろ話もできたし、ひととお感懐しています。その私の手料理も、うまいと、中である青年は、毎年のことであるが民泊にはいろいろと気を配りました。家にも鹿児島県と山形県の人を泊めました。お国なまりがひいて、これからは結婚する私にとって大いに役に立ちます。

資本家の微笑に負けず 矛盾をつかむ学習やる

熊本

徳永新十郎さんから

「三池にまなぶ全園集会」が終わって、早や一カ月以上過ぎた。いま地域分会や民泊した家々に、お礼の手紙などが寄せられてきている。参加者は、果して三池で何を学んで職場に帰っていったのだろうか。ここに参考までに二つの便りを紹介したいと思う。

先日は、大変お世話になりました。暖いおもてなし、心から感謝します。以前知人から「三池にまなぶ」の話は聞いたことがありましたが、今回出席させて頂いたことで、今回出席させて頂いたことで、

日本の労働運動をリードしてきた、そのような組合はどうしてできたのか、大闘争以後組織の分裂、組合員の減少、さらには有炭の糾弾化が叫ばれる中で、どのような闘いをすすめておられるのか。いかに考え、いかなる展望をもっておられるのか、などなど、一般の組合員の人たちから直接学

また、ある青年は「奥さんを、心の温い方と感しました。お嬢さんは、東京で見かける女の子とはまるでちがって見えます。美しい顔の表情にきびしさ、重みのある女らしさ。このものが、目につくりました。兄の方も、心の幅の広い方を感じました。」以上の文面を読んで、私たちが主婦会の活動が若い人の心に美しい理想像のように刻みこまれているのだというなら、そのイメージに恥じない主婦会にしていくのが、私たちのこれからの仕事だ、とつくづく感じました。

三池にまなぶ参加者は何を見たか?

数組合なんですが、会社側から煙たがられてはいても、目立つ差別が少いために、一般組合員がそろって意識が高いわけではありませんが、苦しい闘いの中から、差別の中から強い意識と団結が生まれるのだと考えられましようが、私は、そうではなく、三池の永年の学習と実践が、これだけの強い組織になったのだと思います。一般の組合であれば、あれだけの強い圧力がなかった場合には、意識や団結が強まるよりも、組織が崩壊してしまうのではないのでしょうか。

でも最近、Z運動や差別の緩和から、組合員のはりつめていた気持ちにゆるみがでていて、職場闘争もやや不活発になったように、と自己反省していられたことが、そうしたことば私たちの組合にも共通する問題であり、三池労組だけが特別の組合ではない、われわれに共通の問題だ、と考えさせられました。

こうした状態で私たちの進む道は、徹底した学習活動で資本主義の矛盾をしっかりと把握し、資本家が時折みせる甘い微笑にだまされないうちに、組合意識を十二分に身につけることだと思えます。四分の一とさえたことのない少

いわきからカンパ

国労大牟田の青年部からも

このほど、いわきから、二万五千三百円という思いがけないCカンパが、寄せられてきた。同市のC映画上映と講演のタベ実行委員会(代表者は箱崎文彰さん)からのカンパで、次の便りが同封されていた。

「いま体制の合理化攻撃の嵐がふきあれる中で、社員同いわき支部の同志たちを、まなぶの読者の仲間たちを中心に、約百三十名の仲間を結集し、C映画上映

私たちに、現在賃金の三千年協定(安定賃金)や五千人の合理化計画に対する闘いが、問題になっていきます。権利は自らの闘いによって守るしかない意識、また矛盾を矛盾として明確にとらえる態度で、資本の合理化攻撃に対処しなければならぬと思います。

だれでもよい、宮島さんを 救って上げられないものか

北海道

佐藤昭子さんから

皆さん、その後お元気ですか。北海道は、毎日しほれる日が続いています。今日もマイナス二十二度。寒さが顔がこわばってきそうです。三池にまなぶ会においては、大変お世話になりました。おみやげまでいただいたに本当にありがとうございます。

旭川を築つ時、沢山の仲間との交流、組合員の方々と交流、三池労組の主婦会、組合員の方々と交流、流で「絶対私たちは、三井資本に

緑のゆたかな街から公害の街になつてしまったいわきに、反独占のトリデを築きあげるため頑張ります。皆さんに、よろしくお伝え下さい。」

箱崎さんのお住居は「福島県いわき市平方小路二四、日本社会党いわき総支部気付」です。また国鉄労組熊本地大本牟田駅分會青年部の皆さんからも、多額のカンパを頂きました。

右は三川指導部の芳川勝さんに寄せられたもので、徳永さんのお住所は熊本県菊池市大字原八二六です。なお徳永さんは全九電労組の組合活動家です。

働くものが安心して働ける社会になるよう、私自身同じ働く者として、闘わなければ、と決意しております。明日と、十九日の報告会を控えてのレポート整理や、十四日には革新市長五十嵐三氏と婦人の集いにあたって、まなぶの仲間への電話連絡など忙しい毎日を送っております。

奥さんへ何かとお忙しい日々を送っております。ご家族の皆さんや、分會長さんらに副分會長さん、そして夕食をこちそうになった徳田さんご家族の皆さんにも、くれぐれよろしくお願ひ致します。

右は、佐藤さんから石原マサ子さん(CO患者家族の会。緑丘桂町)に寄せられたもので、佐藤さんのお住所は「北海道旭川市宮前西十五丁目鉄道官舎百三十五号」です。

このようにあつちからこつちから、たくさんさんの便りが寄せられているものと思ひます。ぜひ返事をだして、連帯を結んでゆきましょう。